

第73回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動について(平成8年6月～9月)

1. 主な火山活動について

- ・九重山：統一見解を発表(別紙)

2. 北海道

- ・雌阿寒岳：8月下旬から9月にかけて地震回数が増加した。9月下旬から地震回数の増加している。
- ・十勝岳：5月後半に地震回数が増加したが、6月以降は少なくなった。噴煙の状態に変化はない。
- ・北海道駒ヶ岳：3月5日、昭和17年以来54年ぶりに噴火。噴煙高度は100～200mの少量で推移している。本年6月から実施した機動観測では、山頂のみで観測される微小な地震が観測された。前回(昭和61年)機動観測時に山頂で観測された地震回数(半月間に約30回程度)と比べて、回数が6月には約300回と1桁多く観測された。この地震回数は徐々に減少している。
- ・樽前山：6月以降地震回数がやや増加。
- ・有珠山：特に変化なし。

3. 東北

- ・岩手山：火山性微動が6月に7回、9月に1回観測された。6月から山体直下を震源とする振幅の小さい地震が月に数回観測されている。
- ・吾妻山：振幅の小さな火山性微動が6月5回、7月1回、9月1回観測された。
- ・安達太良山：振幅の小さな火山性微動が6月に1回観測された。9月初旬に沼の平で、噴出孔から約100m四方に泥の噴出があったのが確認された。
- ・磐梯山：特に変化なし。

4. 関東・中部

- ・草津白根山：7月8日に火口近傍の地震計にごく小さな地震が多く観測されたが、その後特に変化はなかった。
- ・浅間山：5月から地震回数の多い状態が続いている。
- ・御嶽山：特に変化はない。山体南東の約10km付近では地震活動が続いている。
- ・伊豆東部火山群：7月2日～28日にかけて地震活動が活発化した(最大地震はM:2.4)。この地震活動に伴い伊東の傾斜計にわずかな傾斜変動が捉えられた。
- ・伊豆大島：8月22日、島の西数km沖合でM2.5を最大とする地震活動があった。地殻変動観測によると、島の膨張現象が観測されている。
- ・三宅島：島の膨張現象が観測されている。
- ・新島：7月17日に地震活動が活発化した(最大地震はM:4.0)。
- ・那須岳：特に変化なし。

5. 九 州

- ・ 鶴 見 岳：伽藍岳の鉾山跡で昨年7月ごろから泥火山が出現しているのが確認された。7月に山体の西側で地震が多く観測された。
- ・ 雲 仙 岳：噴火活動は停止状態が続いている。
- ・ 阿 蘇 山：4月27日以降6月まで第一火口南側火口壁で赤熱現象が観測された。火口底では全面湯溜りが続き、7月30日には土砂噴出が観測された。
- ・ 桜 島：6月に爆発が4回発生したが、7、8月爆発はなかった。9月になってから地震が増加し、小規模な爆発が5回発生した。
- ・ 霧 島 山：特に変化はなし。

6. 南方諸島・南西諸島及び海底火山

- ・ 口永良部島：今年1月からの地震活動が継続している。
- ・ 諏訪之瀬島：噴火活動を継続中。
- ・ 福德岡ノ場：9月以降、航空機により変色水を観測した。

平成8年10月2日
気 象 庁

九重山の火山活動に関する 火山噴火予知連絡会統一見解

九重山では、5月ごろに地震、火山ガス、噴煙量に活発化の兆しが見られ、地殻変動は膨張傾向にあった。しかし、その後これらの活動は比較的落ち着いたレベルで推移し、地殻変動は収縮に転じた。このように、活動レベルに消長が見られるが、大きな変化はない。今後とも、その活動を監視していく必要があり、引き続き、火山活動に注意が必要である。